

■ 掲示板

■ サマー・サイエンスキャンプ2006参加者募集

先進的な研究施設や実験装置等を有する日本各地の大学・公的研究機関・民間企業（33会場）で夏休みの3～4日間高校生等を受け入れ、ライフサイエンス、情報通信、環境、ナノテクノロジー・材料、エネルギー、社会基盤、製造技術、（宇宙・海洋等の）フロンティア、農学、防災、地球科学等の分野において、第一線で活躍する研究者・技術者等から直接講義や実習指導が受けられる科学技術体験宿泊プログラム。募集要項はWEBサイトから入手可能。

開催日：2006年7月25日～8月25日の夏休み期間中の2泊3日もしくは3泊4日

参加費：10,000円

応募締め切り：6月27日（火）〈必着〉

主催：独立行政法人 科学技術振興機構

事務局：財団法人 日本科学技術振興財団内 サイエンスキャンプ事務局

TEL：03-3212-2454 FAX：03-3212-0014

詳細：URL：http://ppd.jsf.or.jp/camp/

■ 第8回（2006年度）サー・マーティン・ウッド賞受賞候補者推薦要項

趣旨：凝縮系科学に係わる若手研究者に対して研究のインセンティブ、モチベーションを与えます。

対象分野：広い意味の凝縮系科学（例：固体物理学、無機・有機固体化学、材料科学、表面物理）

候補者：日本における研究機関で、凝縮系科学における優れた業績をあげた40歳以下（2006年4月1日現在）の若手研究者。国籍は問わない。

賞の内容：受賞は毎年1件ないし2件とし、受賞者には賞状、賞金50万円と英国のいくつかの大学への講演旅行の機会が与えられます。

推薦依頼先：関係専門分野の有識者、関連諸学会

推薦件数：各推薦者（研究室）、推薦団体からそれぞれ一件とします。

推薦方法：所定の推薦用紙に必要事項をご記入の上、締切期日までに到着するよう下記事務局にお送り下さい。自薦も受け付けます。自薦、他薦共に、候補者の業績内容を最も良く理解していると考えられ、当方より問い合わせ照会のできる2名の方（推薦者以外の方）の氏名、所属、肩書き、連絡先を記入して下さい。

締切期日：2006年8月1日（火）

選考：ミレニアム・サイエンス・フォーラム実行委員会にて審査、選考します。

決定：2006年9月の予定です。

賞の贈呈：2006年11月に東京都内会場で行う予定です。

推薦書提出先及び連絡先：

〒135-0047 東京都江東区富岡 2-11-6

オックスフォード・インストゥルメンツ株式会社内

ミレニアム・サイエンス・フォーラム事務局

TEL：03-5245-3261 FAX：03-5245-4472

E-mail：msf@oxinst.co.jp URL：http://www.msforum.jp/

■ 東京大学物性研究所教員公募

研究部門名等および公募人員数：附属中性子科学研究施設（柴山研究室）助手1名

当施設は日本原子力研究所研究用原子炉（JRR-3M）を用いた中性子散乱実験の全国大学共同利用機関であり、茨城県那珂郡東海村に設置されている。したがって、主たる勤務地は同設置場所である。

研究内容：中性子散乱、特に中性子スピンエコーならびに小角中性子散乱法を用いたソフトマターの構造・ダイナミクスの研究に従事し、中性子散乱法の開発にも強い関心をもつ意欲のある若手研究者を希望する。中性子散乱の経験の有無は問わない。全国共同利用に関連する業務（実験設備の維持・管理・改良、共同利用者の実験支援など）を分担していただく。

応募資格：修士課程修了、またはこれと同等以上の能力を持つ方。任期：任期は5年とする。ただし、再任は可とし、1回を限度とする。

公募締切：2006年6月30日（金）必着

着任時期：決定後なるべく早い時期

提出書類：

（イ）推薦の場合：

- 推薦書（健康に関する所見を含む）
- 履歴書（略歴で可）
- 業績論文リスト（特に重要な論文に○印をつけること）
- 主要論文の別刷（3編程度）

（ロ）応募の場合

- 履歴書（略歴で可）
- 業績論文リスト（特に重要な論文に○印をつけること）
- 主要論文の別刷（3編程度）
- 健康診断書
- 所属の長または指導教員作成の応募者本人についての意見書（作成者から宛先へ直送）

書類提出先：〒277-8581 千葉県柏市柏の葉5丁目1番5号

東京大学柏地区人事・労務グループ人事チーム

Tel：04(7136)3205 E-mail：jinji@kashiwa-jimu.u-tokyo.ac.jp

問合せ先：東京大学物性研究所附属中性子科学研究施設 教授 柴山充弘

Tel：(029)287-8904 E-mail：shibayama@issp.u-tokyo.ac.jp

注意事項：附属中性子科学研究施設（柴山研究室）「助手応募書類在中」、または「意見書在中」の旨を朱書きし、郵送の場合は書留で郵送のこと。

選考方法：東京大学物性研究所教授会で審査決定いたします。た

だし、適任者のない場合は、決定を保留いたします。

詳細：

URL：http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/jim/jinji/joshu10.html

■東京大学物性研究所教員公募

研究部門名等および公募人員数：先端分光研究部門（高橋敏男研究室）助手1名

研究内容：表面界面，X線光学，放射光構造物性などの分野において積極的に研究を進める意欲のある若手研究者を希望する。放射光利用の経験があることが望ましいが、特に経験の有無は問わない。

応募資格：修士課程修了，または，これと同等以上の能力を持つ方。

任期：任期は5年とする。ただし，再任は可とし，1回を限度とする。

公募締切：2006年8月15日(火)必着

着任時期：決定後なるべく早い時期

提出書類：

(イ) 推薦の場合

- 推薦書（健康に関する所見を含む）
- 履歴書（略歴で可）
- 業績論文リスト（特に重要な論文に○印をつけること）
- 主要論文の別刷（3編程度）

(ロ) 応募の場合

- 履歴書（略歴で可）
- 業績論文リスト（特に重要な論文に○印をつけること）
- 主要論文の別刷（3編程度）
- 健康診断書
- 所属の長または指導教員等による応募者本人についての意見書（作成者から書類提出先へ直送）

書類提出先：〒277-8581 千葉県柏市柏の葉5丁目1番5号

東京大学柏地区人事・労務グループ人事チーム

電話 04-7136-3205

E-mail jinji@kashiwa-jimu.u-tokyo.ac.jp

問い合わせ先：東京大学物性研究所先端分光研究部門教授

高橋敏男

電話 04-7136-3370 E-mail ttaka@issp.u-tokyo.ac.jp

注意事項：「先端分光研究部門（高橋敏男研究室）助手応募書類在中」，または「意見書在中」の旨を朱書し，郵送の場合は書留とすること。

選考方法：東京大学物性研究所教授会にて審査決定いたします。

ただし，適任者のない場合は，決定を保留いたします。

■理化学研究所 播磨研究所 放射光科学総合研究センター

新研究室協力研究員（任期制博士号研究員）募集

【募集研究室】高田構造科学研究室

【研究室の概要】平成18年4月より「構造科学研究室」（高田昌樹 主任研究員）が，理研・播磨研究所に発足し，SPring-8を利用した放射光X線回折による構造物性の先端的研究を推進していくことになりました。それに伴い協力研究員を，以下の2つの研究分野について募集します。

1) 放射光の，高輝度・高平行X線による回折データから，マキシマムエントロピー法（MEM）等により，様々な先端材料の精密電子分布マッピングを行い，分子・原子の結合形態・電荷整列・電荷移動の直接観察し，物性と構造との精緻な関係を明らかにする精密構造物性の研究を行う。また，ピコ秒の時間分解の回折実験による電子密度マッピングも試み，ガス吸着現象，光誘起現象などの機構解明に挑戦する。

2) 単結晶構造X線データを用いて，たんぱく質などの巨大分子の電子マッピングをMEMにより解明し，ヘムなどのアクセシブルサイトの結合形態・電荷移動などについて明らかにし，タンパク分子の電子が関与する機能解明のための精緻な構造情報を明らかにする研究を展開する。

MEMによる研究経験は問わないが，コンピューターのプログラミングの経験者を歓迎する。いずれの研究分野も，新しいことに挑戦し，精力的に研究に取り組む方を希望します。

【募集職種，募集人数】協力研究員（任期制，博士号研究員）：若干名

【応募資格】当該分野において研究経験があり，平成18年4月1日までに博士号取得者または同等以上の能力を有し，意欲的に研究に取り組む者

【勤務地】事業所名及び住所：理化学研究所 播磨研究所 放射光科学総合研究センター（SPring-8内）

〒679-5148 兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1

【待遇】年度契約の任期制職員で，評価により更新可能（採用より3ヶ年度の間）。

給与は，経験，能力，実績に応じた年俸制で，通勤手当，住宅手当，社会保険の適用有り。休日は，土日，祝日，年末年始（12/29-1/3），当研究所設立記念日。

その他，当研究所規程による。

日本学生支援機構奨学金免除の対象，科学研究費補助金の申請資格有り。

【応募方法及び締切日】〔提出書類〕以下の書類を用意して下さい。

- (1) 履歴書（A4版，上半身写真貼付，日中の連絡先（携帯電話，メールアドレスなど）を明記）
- (2) 研究業績リスト（原著論文，総説，学会発表など）
- (3) これまでの研究概要
- (4) 現職の所属長の推薦状1通
（現職の所属長から推薦状をもらうことが困難な場合は，要相談）
- (5) 今後の抱負，自己PR

〔締切日〕定員になり次第

「構造科学研究室協力研究員応募資料在中」と朱書きのこと。

【個人情報の利用目的について】

この採用に関連して提供された個人情報については，採用選考の目的に限って利用し，選考終了後は，選考を通過した方の情報を除き全ての個人情報は責任をもって破棄します。

【選考方法】書類審査と面接審査。

【着任時期】平成18年（2006年）5月1日以降予定。

【備考】書類送付前に，問い合わせ先のEメールアドレス等にご連絡下さい。

【問合せ先・書類送付先】

〒679-5148 兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1

理化学研究所 播磨研究所 放射光科学総合研究センター
高田構造科学研究室 高田昌樹
(問い合わせ先)
電話：0791-58-2942 FAX：0791-58-2717
Email：takatasc@spring8.or.jp

■理化学研究所 播磨研究所 放射光科学総合研究センター 研究員募集

【募集研究室】

新竹電子ビーム光学研究室 (主任研究員：新竹 積)

【研究室の概要】

当研究室は、播磨研究所において、次世代放射光源である X 線自由電子レーザーの加速器の技術開発及び建設を中心となって推進している。具体的には、高品質の電子ビームを発生する電子源、これを高エネルギーに加速する高電界線形加速器、そしてビーム診断技術を開発している。

この中で、C バンド周波数を用いた高周波加速技術の高度化が急務となっており、これを中心となって技術開発の任務を負う研究者の募集である。また、ビーム診断技術の開発も併せて行う。

【募集職種、募集人数及び職務内容】

研究員 1 名 (高周波加速器の研究)

【応募資格】

2006年10月1日時点で博士号取得者

【勤務地】

事業所名及び住所：〒679-5148 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1
理化学研究所 播磨研究所

【待遇】

定年制職員 (60歳定年)。但し、採用時の審査結果によっては5年間の任期制職員として採用され、3年終了後に定年制移行審査を受けることになる。任期制職員として雇用される場合の年収・勤務条件は定年制職員に準じる。

通勤手当、住宅手当の支給有り。社会保険の適用有り。休日は、土日、祝日、年末年始 (12/29-1/3)、当研究所設立記念日。その他、当研究所規程による。日本学生支援機構奨学金免除の対象、科学研究費補助金の申請資格有り。

【応募方法及び締切日】

[提出書類]

- (1) 履歴書
- (2) 研究業績一覧
- (3) 現職の所属長を含む推薦状 2 通
(現職の所属長から推薦状をもらうのが困難な場合は、第 3 者による推薦書)
- (4) 現在迄の研究業績 (800字程度) と採用後の抱負 (約200字程度)

[締切日] 2006年7月14日(金)必着

【選考方法】

書類選考後、面接を行う。

【着任時期】

2006年10月1日以降なるべく早い時期

【問合せ先・書類送付先】

〒679-5148 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1
理化学研究所 播磨研究所

新竹電子ビーム光学研究室 新竹 積
簡易書留または書留で送付すること。
封筒に、「研究員応募書類在中」と朱書きすること。
電話：0791-58-2929 FAX：0791-58-2840
メール：shintake@spring8.or.jp

■財団法人高輝度光科学研究センター研究職員募集要項

財団法人高輝度光科学研究センターでは、研究職員を以下の要領で募集します。

募集人員：利用研究促進部門「分光物性Ⅱグループ 光電子チーム」チームリーダー 1 名

募集分野：光電子チームは分光物性Ⅱグループに属し、軟 X 線ビームライン BL25SU や 27SU、硬 X 線ビームライン BL47XU での光電子分光実験を担当しています。このチームリーダーとして、光電子分光実験分野における高輝度放射光の利用技術開発、利用研究推進、ユーザーサポートに指導的役割を担っていただきます。本チームは、光電子放出現象を利用した基礎から応用までの広範な物性研究に携わるため、電子分光実験技術に関する幅広い知識と放射光の先端利用に関わる装置開発の実績、および分光物性研究の経験が要求されます。さらに、着任後には、光電子分光、軟 X 線発光、光電子顕微鏡などの実験法の開発・高度化をグループ内の軟 X 線・赤外チームと協力して推進し、新しい研究領域の開拓に意欲的に取り組む方を期待します。尚、分光物性Ⅱグループのグループリーダーには木下豊彦主席研究員が在職しています。

待遇：財団法人高輝度光科学研究センター規程による。

着任時期：平成18年7月1日以降、可能な限り早い時期。

応募資格：博士の学位取得者またはこれと同等以上の能力を有し、当該分野を推進する実力と実績を有する方。

提出書類：

- (1) 履歴書 (当財団指定様式、写真貼付) 【履歴書用紙(*) PDF ファイル/MS Word ファイル】
- (2) 研究業績概要
- (3) 研究計画書
- (4) 業績リスト (発表論文などのリスト)
- (5) 代表的な研究論文の別刷 (5 編以内)
- (6) 本人に関する意見を求め得る方 3 名以内の氏名と連絡先
※(2)~(4)、(6)の書類は、全て A4 判で作成のこと。
(*) 手書き記入 (PDF) または入力 (Word) のいずれの形式でも結構です。

応募締切：平成18年6月12日(月)必着

応募書類送付先：

財団法人高輝度光科学研究センター総務部人事課

〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1

Tel：0791-58-0951 Fax：0791-58-2794

e-mail：jinji-saiyo@spring8.or.jp

問合せ先：研究・業務内容については、以下にお問い合わせ下さい。

利用研究促進部門 部門長 高田昌樹

Tel：0791-58-0946 0791-58-0803 (3485)

e-mail：takatama@spring8.or.jp

■財団法人高輝度光科学研究センター協力研究員募集要項

財団法人高輝度光科学研究センターでは、協力研究員を以下の要領で募集します。

募集人員：利用研究促進部門 分光物性 I グループ 協力研究員 1 名

研究分野と業務内容：サブミクロン硬 X 線ビームを用いた時分割 XMCD 測定の手法および装置を開発し、MRAM やハードディスク等の磁気記録実デバイスの磁化反転過程の動的観察を行っていただきます。MCD チームの職員と共同で、当該装置の開発とそれを用いた研究の遂行、ビームラインの保守運転及び共同利用ユーザーに対するサポートを業務とします。これまでの研究分野、放射光実験の経験の有無は問いません。時分割実験の経験のある方を優遇します。装置開発や新しい実験手法の開発に意欲的な方を歓迎します。

待遇：財団法人高輝度光科学研究センター規程による。

着任時期：平成18年7月1日以降、できるだけ早い時期。

任期：3 年を限度とし、年度毎に契約更新。

応募資格：博士の学位取得者あるいは平成18年7月1日までに取得予定者

提出書類：

- (a) 履歴書（財団指定用紙、写真貼付）【履歴書用紙(*) PDF ファイル/MS Word ファイル】
 - (b) 推薦書（自薦可、様式は任意）
 - (c) 研究業績（博士論文等、あるいは現在の職務内容等を含む）
 - (d) 業績リスト（発表論文と学会発表などのリスト）
 - (e) 代表的な研究論文の別刷（5 編以内）
- (b)~(d)までの書類は、全て A4 判で作成のこと。
(*) 手書き記入（PDF）または入力（Word）のいずれの形式でも結構です。

応募締切：平成18年6月12日(月)必着

応募書類送付先：

財団法人高輝度光科学研究センター 総務部人事課
〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1
TEL : 0791-58-0951 FAX : 0791-58-2794
e-mail : jinji-saiyo@spring8.or.jp
問合せ先：研究業務内容については、以下にお問合せ下さい。
利用研究促進部門 部門長 高田昌樹
e-mail : takatama@spring8.or.jp

■財団法人高輝度光科学研究センター 奨励研究員募集要項

財団法人高輝度光科学研究センターでは、奨励研究員を以下の要領で募集します。

募集人員：利用研究促進部門 分光物性 I グループ 奨励研究員 1 名

募集分野：当グループでは、X 線スペクトルスコピーと極小空間 (nm) での X 線を組み合わせた物質のキャラクタリゼーションを推進しています。特に以下の項目の技術開発のうち複数のものについて経験があり、X 線光学における実力と実績を有する方で、X 線領域でのナノビーム形成とその応用研究及びビームラインの保守運転、共同利用ユーザーに対するサポート業務を当グループの一員として意欲的に取り組んでいただける方を募集します。

1. X 線集光光学素子/光学系設計
2. X 線光学素子製作
3. X 線光学素子オフライン評価
4. 波動光学に基づく集光光学系シミュレーション
5. 放射光ビームラインでのナノビーム集光光学系調整
6. ナノビーム利用計測系開発
7. ナノビーム利用のための試料環境開発
8. ナノビーム利用 X 線イメージングでのデータ処理技術

※募集分野等については、後述の部門長に、事務手続きについては総務部人事課にお問い合わせ下さい。

待遇：財団法人高輝度光科学研究センター規程による。

着任時期：平成18年7月1日以降、可能な限り早い時期。

任期：3 年を限度とし、年度毎に契約更新

応募資格：当該分野において研究経験があり、平成18年7月1日までに修士号取得者または同等以上の能力を有し、意欲的に研究に取り組む者

提出書類：

- (1) 履歴書（当財団指定様式、写真貼付）【履歴書用紙(*) PDF ファイル/MS Word ファイル】
 - (2) 研究業績概要
 - (3) 研究計画書
 - (4) 業績リスト（発表論文などのリスト）
 - (5) 代表的な研究論文の別刷（5 編以内）
 - (6) 本人に関する意見を求め得る方 3 名以内の氏名と連絡先
- ※(2)~(4), (6)の書類は、全て A4 判で作成のこと。
(*) 手書き記入（PDF）または入力（Word）のいずれの形式でも結構です。

応募締切：平成18年6月12日(月)必着

応募書類請求及び送付先：

財団法人高輝度光科学研究センター総務部人事課
〒679-5198 兵庫県佐用郡佐用町光都 1-1-1
Tel : 0791-58-0951 Fax : 0791-58-2794
e-mail : jinji-saiyo@spring8.or.jp
問合せ先：研究・業務内容については、以下にお問い合わせ下さい。
利用研究促進部門 部門長 高田昌樹
Tel : 0791-58-0946
e-mail : takatama@spring8.or.jp

■会告

■日本放射光学会第70回評議員会議事録

日 時：2006年4月1日(土)14:00~16:20

場 所：理研東京連絡事務所 会議室

出席者：雨宮慶幸，石川哲也，上野信雄，大隅一政，太田俊明，尾嶋正治，木村真一，桜井健次，繁政英治，下村 理，鈴木芳生，寿栄松宏仁，田中 均，浜谷 望，間瀬一彦，水木純一郎，宮原恒昱 (以上，評議員) 下村 理 (会長)，高田昌樹 (庶務幹事)，澤 博 (渉外幹事)，木村真一 (行事幹事)，中川敦史 (会計幹事)

事務局：小川紀子，佐藤亜己奈，西野三和子 (WORDS)

欠席者：宇理須恒雄，大熊春夫，大柳宏之，小杉信博，

小宮 聡，佐藤 繁，辛 埴，菅 滋正，関 一彦，難波孝夫，藤森 淳，野田幸男，村上洋一

(審議事項)

0. 本会議は，野田議長の代理で雨宮評議員に議長をお願いした。
1. 新入会員の承認
高田庶務幹事より会員異動について，第69回評議員会以降の入退会者に関する報告があり承認された。入会：正会員11名 (うち学生会員5名)，退会：正会員36名 (うち学生会員11名) と賛助会員1社。
正会員退会希望者のうちの数名について，本人に再考を打診することとした。
2. 名簿の電子化について
澤渉外幹事より作業の遅延と進捗状況について報告があり，今後の作業予定について報告があった。幹事・評議員による試行運用を4月28日迄に終了し，5月初めから，全会員による個人データの確認作業に入る。正式公開は7月末となる予定が報告され承認された。
評議員より，専門分野について，包括的な検討が行われるよう要請があり，4月28日までの評議員による試行運用での検討項目とすることとなった。
3. 放射光学会年度の見直しについて
下村会長より，実効的かつ効率的な学会運営を行うための学会年度の見直しの必要について説明があり，中川会計幹事から会計年度との関係を含めて年度見直しについての試案の説明があり，審議した。
改訂のポイントは，学会年度と会計年度，総会・年会の時期の間の調整となる。次回評議員会までに，評議員の意見を基に，試案の再検討を行い，あらためて審議することとなった。
4. 年会・合同シンポ再改革案
木村行事幹事より，前回評議員会に提出した「年会・合同シンポ委員の申し合わせ」の改定案の改訂版が提示され，承認された。
また，年会参加費の値上げ等についても，合同シンポジウム組織委員会に提案することが承認された。
5. 特別委員会について
雨宮委員長より，本年1月に開催された第2回先端的リング型光源計画特別委員会の報告と，4月10日に開催する第3

回委員会の予定について提案され承認された。

6. 次期会長選挙・評議員選挙について
高田庶務幹事より次期会長と評議員の半数 (15名) の選挙について，前年度に続き浜谷評議員を選挙担当評議員にお願いし，推薦，本選挙を実施することが報告された。選挙実施の日程について審議され8月5日の評議員会に選挙結果を報告することで承認された。
7. 学会奨励賞について
高田庶務幹事より第11回日本放射光学会奨励賞の受賞候補者の公募について，応募締切日 (2006年7月20日(木)) について等，実施要綱に関する報告があり，公募記事の学会誌 (5月発行号) への掲載，受賞者へのメダルの授与などについて確認した。
8. 稿料の見直しに関して
横山編集幹事より編集経費の赤字削減のための稿料見直しについて，編集会議での議論を基に提案され，審議の結果，筆頭著者が会員については無料とし，非会員については従来どおりとすることが承認された。今後，学会の経費節減について，総合的な検討が必要であることが確認された。

(報告事項)

1. 第19回年会・合同シンポ会計報告，予算執行状況について
中川会計幹事より第19回年会・合同シンポと市民講座の収支報告が行われた。
さらに，学会会計の1/4年分の予算執行状況について報告があり，例年通りの執行状況である旨の説明があった。
2. 第20回年会・合同シンポジウムについて
木村行事幹事より開催日時および場所について，広島市内での開催を検討中であることが報告された。今月末までに期日と場所を決定することを確認した。実行委員長は生天目博文 (広大)，プログラム委員長は田中健一郎 (広大) の予定である。
21回については立命館大学草津キャンパスでの開催が検討されていることも，あわせて報告があった。
3. 次回若手ワークショップ開催について
第3回若手ワークショップについては，8月7，8日に，学会の特別委員会での議論の経緯に合わせてその内容を企画すること，また会場は経費節減を考慮して分子研 (自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンター) で開催すること等の報告があった。
4. AOFの準備状況について
澤渉外幹事より1st Asian/Oceanic Forum for Synchrotron Radiation Research (AOF2006) の準備状況について報告があり，サーキュラーが配られ，ポスターが掲示された。
5. 会誌オンライン化について
横山編集幹事より，オンライン学会誌の事務局サーバーへの移設が完了し，会員への周知が終了し，運用を開始していることが報告された。

6. 広告掲載状況
高田庶務幹事より会誌への広告掲載状況について報告があった。今後、広告料の増収について評議員への協力が要請された。
7. 協賛、共催、後援等について
澤渉外幹事より本学会に対する協賛、共催、後援依頼について報告があった。
8. 2006年度カレンダー（活動・行事予定）について
高田庶務幹事より本年度の学会活動と行事の予定の表が提出された。
9. 次回評議員会日程の確認
第71回評議員会 2006年8月5日(土) 14:00-16:00
第72回評議員会 2006年11月4日(土)14:00-16:00
場所: 理研東京連絡事務所 会議室(東京丸の内)

山本 厚之 兵庫県立大学大学院工学研究科物質系工学専攻
熊坂 崇 東京工業大学大学院生命理工学研究科
荒木 暢 North Carolina State University (Advanced Light Source)

以上6名

《学生会員入会》

吉田 秀和 京都工芸繊維大学工芸科学研究科
平間 芳輝 奈良先端科学技術大学院大学
福島 靖之 兵庫県立大学高度産業科学技術研究所
松山 智至 大阪大学工学研究科精密科学専攻
久保 敬 大阪府立大学大学院工学研究科物質・化学専攻

以上5名

《退会会員》

正会員24名, 学生会員11名, 賛助会員1社

《会員数》

正会員1313名(内学生203名) 賛助会員51社(56口)

■会員異動

第70回評議員会(2006年4月1日)で承認

《正会員入会》

稲垣 隆宏 理化学研究所播磨研究所電子ビーム光学研究室
二宮 利男 高輝度光科学研究センター産業利用推進室
山内 和人 大阪大学大学院工学研究科精密科学応用物理学専攻

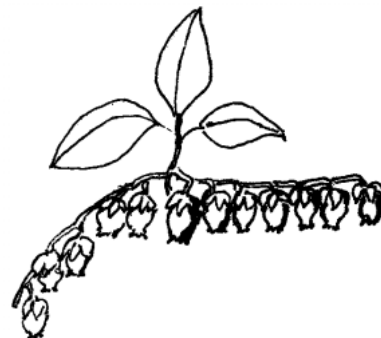
一口メモ

馬酔木

日本各地に自生するツツジ科の常緑灌木で、庭樹として栽培されている。春に壺形の小さくて白い花をふさの状態につける。葉や茎に有毒成分があり、食べると呼吸中枢が麻痺する。馬がこの葉をたべると中毒を起こすために、この名がつけられたと言われている。草食動物はそのことを知っていて食べる事はない。材は堅く、ろくろ細工、くし、寄木細工に使われている。また、葉の煮汁は農作物の殺虫剤、皮膚病薬に用いられる。

清々しい気候に誘われて、里山に入りますと食べられる野草、ぜんまい、ふき、やまうど、たらのめ、のびる、わらび、ごみ等、を目にします。早速、採集して自宅に持ち帰り、てんぷらや、熱湯に米ぬかを入れ、あく抜き後に調理したものが食卓に出てきます。春の香りが漂う野草を食べながら、冷えたビールを飲むことは楽しみです。

(No. 69, K. Ohshima)



Waka

■行事予定

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
2006年 6/6-8	Synchrotron Radiation in Polymer Science III (SRPS3)	SPring-8, Hyogo, Japan	SRPS3 organizing committee E-mail: shin@kit.jp URL: http://chempro.env.kitakyu-u.ac.jp/~srps3/	19・3
6/10	日本結晶学会講演会「粉末 X 線回折法による構造解析—医薬品, タンパク結晶への応用」	日本化学会化学会館 7階ホール	日本結晶学会 E-mail: inakai@rs.kagu.tus.ac.jp URL: http://www.crsj.jp/koushukai06-1.html	19・3
6/17	「小型放射光施設の果たす役割」～立命館大学 SR センターのこれまでの10年とこれから～	立命館大学びわこ・くさつキャンパスローム 記念館/SR センター	立命館大学総合理工学研究機構 SR センター E-mail: ohta@fc.ritsumeai.ac.jp	19・3
6/23	文部科学省ナノテクノロジー総合支援プロジェクト平成17年度放射光グループ研究成果報告会 「放射光利用ナノテク最前線2006」	コクヨホール	財団法人高輝度光科学研究センター, 独立行政法人日本原子力研究開発機構, 独立行政法人物質・材料研究機構, 立命館大学 問い合わせ: E-mail: nano_tech@spring8.or.jp	19・3
7/3-4	X 線・中性子反射率法に関連する研究会「埋もれた界面の X 線・中性子解析に関するワークショップ2006」	マルコーイン・新横浜	(株)応用物理学会 「埋もれた」界面の X 線・中性子解析グループ E-mail: sakurai@yuhgiri.nims.go.jp URL: http://www.nims.go.jp/xray/ref/	19・2
7/9-13	第13回小角散乱国際会議 (SAS2006-Kyoto)	京都国際会議場	E-mail: SAS2006@alloy.polym.kyoto-u.ac.jp	
7/23-28	国際鉱物学連合第19回総会学術講演会 (IMA2006-Kobe)	神戸国際会議場	URL: http://www.congre.co.jp/ima2006/index-j.html	18・6
8/17-19	第66回岡崎コンファレンス「軟 X 線ラマン分光と関連現象 国際ワークショップ」	岡崎コンファレンスセンター	分子科学研究所 UVSOR 施設 IWSXR 事務局 E-mail: iwsxr@uvsor.ims.ac.jp URL: http://www.uvsor.ims.ac.jp/iwsxr/	19・3
8/18-20	第 6 回日韓強誘電体会議 (JKC-FE06)	東北大学多元物質科学研究材料・物性総合研究棟 II	JKCFE06実行委員会 E-mail: ynoda@tagen.tohoku.ac.jp	19・3
8/23-26	第46回真空夏季大学	伊豆網代温泉 松風荘	日本真空協会 E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org URL: http://www.soc.nii.ac.jp/vs/	19・2
9/7-9	第 9 回 XAFS 討論会	福岡大学文系センター 第 4 会議室	日本 XAFS 研究会 E-mail: wakita@fukuoka-u.ac.jp	19・3
9/19-20	第 2 回硬 X 線光電子分光国際ワークショップ (HAXPES2006)	SPring-8 放射光普及棟	高輝度光科学研究センター, 理化学研究所播磨研究所 E-mail: haxpes06@spring8.or.jp URL: http://haxpes2006.spring8.or.jp/index.html	19・3
10/15-19	第 5 回低エネルギー電子顕微鏡及び光電子顕微鏡国際会議 (LEEM_PEEM-V)	イーグレ姫路	(株)高輝度光科学技術センター LEEM_PEEM-V 事務局 E-mail: leem-peem-v@spring8.or.jp	19・1
11/7-9	第47回真空に関する連合講演会	大阪大学コンベンションセンター	日本真空協会 E-mail: ofc-vs@vacuum-jp.org URL: http://www.soc.nii.ac.jp/vs/	19・2

開催月日	名 称	開 催 地	主催又は問い合わせ先	掲載巻・号
11/24-25	The 1st Asian/Oceanic Forum for Synchrotron Radiation Research	高エネルギー加速器研究機構 (つくば市)	日本放射光学会 E-mail: AOF06_office@pfqst.kek.jp URL: http://pfwww.kek.jp/AsOcSR06/	19・1
2007年 9/25-29	加速器をベースとした赤外顕微鏡と分光の国際ワークショップ (WIRMS2007)	兵庫県立淡路夢舞台国際会議場	WIRMS2007事務局 (神戸大学内) E-mail: okamura@kobe-u.ac.jp	19・3

本欄では、研究会、シンポジウム、国際会議等のおしらせを募集しております。掲載ご希望の方は事務局までご連絡下さい。一記事の長さは1/2ページ以下を目安とし、様式は事務局で変更させて頂く場合がございます。

■Synchrotron Radiation in Polymer Science III (SRPS3)

主 催：SRPS3 organizing committee
協 賛：日本放射光学会，他
日 時：2006年6月6日(火)～8日(木)
会 場：SPring-8, Hyogo, Japan
問合せ先：E-mail：shin@kit.jp
詳 細：URL：http://chempro.env.kitakyu-u.ac.jp/~srps3/

■日本結晶学会講演会

「粉末 X 線回折法による構造解析—医薬品、タンパク結晶への応用」

主 催：日本結晶学会
協 賛：日本放射光学会，他
日 時：2006年6月10日(土) 13：00-17：30
会 場：日本化学会化学会館7階ホール
(東京都千代田区神田駿河台1-5)
会 費：一般2,500円，学生500円
(結晶学会会員と共催・協賛学会会員は1,500円)
申込先：日本結晶学会事務局講演会係
〒112-0012 東京都文京区大塚3-11-6
大塚三丁目ビル
Tel：03-5940-7640 Fax：03-5940-7980
E-mail：cr-info@realize-at.jp
問合せ先：東京理科大学理学部 中井 泉
E-mail：inakai@rs.kagu.tus.ac.jp
詳 細：URL：http://www.crsj.jp/koushukai06-1.html

■「小型放射光施設の果たす役割」

～立命館大学 SR センターのこれまでの10年とこれから～

主 催：立命館大学総合理工学研究機構 SR センター
協 賛：日本放射光学会，他
日 時：2006年6月17日(土)
10：00-16：00 (シンポジウム)
16：15-17：15 (ポスターセッション)
17：30-18：30 (交流会)

会 場：立命館大学 びわこ・くさつキャンパス
ローム記念館/SR センター
問合せ先：立命館大学 SR センター長 太田俊明
E-mail：ohta@fc.ritsumei.ac.jp

■文部科学省ナノテクノロジー総合支援プロジェクト 平成17年度放射光グループ研究成果報告会 「放射光利用ナノテク最前線2006」

主 催：財団法人高輝度光科学研究センター，独立行政法人日本原子力研究開発機構，独立行政法人物質・材料研究機構，立命館大学
後 援：日本放射光学会，他
日 時：2006年6月23日(金) 10：00-17：30
会 場：コクヨホール
(〒108-8710 東京都港区港南1丁目8番35号)
参加費：無料
定 員：200名
※定員になり次第締め切りとさせていただきます。

申込方法：
○FAX でのお申し込みの場合
別紙の参加申込に必要事項明記のうえ下記参加登録事務局までお申し込みください。
○電子メールでのお申し込みの場合
氏名，所属，部署，役職，住所(連絡先)，電話番号，FAX，E-mail をご記入のうえ下記参加登録事務局までお申し込みください。
○WEB でのお申し込みの場合
SPring-8 の WEB ナノテク報告会参加申込登録画面からお申し込みください。
URL http://www.spring8.or.jp/ext/ja/nano_tech/result05

問合せ先：
財団法人高輝度光科学研究センター研究調整部
ナノテクノロジー総合支援プロジェクト
放射光グループ事務局 三好 (ミヨシ)，徳永 (トクナガ)
TEL：0791-58-0919/FAX：0791-58-0830
E-mail：nano_tech@spring8.or.jp
詳 細：URL：http://www.spring8.or.jp

■第66回岡崎コンファレンス

「軟 X 線ラマン分光と関連現象 国際ワークショップ」

主催：自然科学研究機構・分子科学研究所

日時：2006年8月17日(木)午後～19日(土)午前

会場：岡崎コンファレンスセンター

参加費：無料(懇親会費別)

定員：150名程度を予定

講演申込締切：6月30日(金)(旅費支援あり)

参加申込締切：7月21日(金)(一部旅費支援あり)

問合せ先：分子科学研究所 UVSOR 施設 IWSXR 事務局

E-mail : iwsxr@uvsor.ims.ac.jp

詳細：URL : <http://www.uvsor.ims.ac.jp/iwsxr/>

■第6回日韓強誘電体会議 (JKC-FE06)

主催：JKCFE06実行委員会・東北大学多元物質科学研究所

協賛：日本放射光学会，他

日時：2006年8月18日(金)～20日(日)

会場：東北大学多元物質科学研究所材料・物性総合研究棟Ⅱ

参加費：一般25,000円(事前22,000円)，学生10,000円

アブストラクト締切：2006年6月1日(木)

参加登録事前申込締切：2006年7月1日(土)

問合せ先：東北大学多元物質科学研究所 野田研究室

JKCFE06実行委員会委員長 野田幸男

〒980-0855 仙台市青葉区片平2-1-1

E-mail : ynodata@tagen.tohoku.ac.jp

詳細：URL : <http://res.tagen.tohoku.ac.jp/~jkcf06/>

■第9回 XAFS 討論会

主催：第9回 XAFS 討論会

協賛：日本放射光学会，他

日時：2006年9月7日(木)～9日(土)

会場：福岡大学文系センター第4会議室

参加費：会員・学生 1000円 会員外 3000円

発表申込締切：2006年7月1日(土)

予稿原稿締切：2006年8月1日(火)

事前参加申込締切：2006年8月21日(月)

問合せ先：福岡大学理学部 脇田久伸

〒814-0180 福岡市城南区七隈8-19-1

Tel 092-871-6631内(6218)

E-mail : wakita@fukuoka-u.ac.jp

詳細：URL : <http://www.sc.fukuoka-u.ac.jp/~ac/xafs9>

■第2回硬 X 線光電子分光国際ワークショップ (HAXPES2006)

主催：高輝度光科学研究センター，理化学研究所播磨研究所，大阪大学21世紀 COE プログラム「物質機能の科学的解明とナノ工学の創出」

後援：日本放射光学会，他

日時：2006年9月19日(火)～20日(水)

会場：SPRING-8 放射光普及棟

兵庫県佐用郡佐用町光都1-1-1

問合せ先：HAXPES2006事務局

Tel : 0791-58-0987 Fax : 0791-58-0988

E-mail : haxpes06@spring8.or.jp

詳細：URL : <http://haxpes2006.spring8.or.jp/index.html>

■加速器をベースとした赤外顕微鏡と分光の国際ワークショップ

International Workshop on Infrared Microscopy and Spectroscopy with Accelerator Based Sources (WIRMS2007)

主催：WIRMS2007事務局

協賛：日本放射光学会，他

日時：2007年9月25日(火)～29日(土)

会場：兵庫県立淡路夢舞台国際会議場

問合せ先：WIRMS2007事務局(神戸大学内)岡村英一

E-mail : okamura@kobe-u.ac.jp

● 会誌オンラインご案内 ●

編集委員長 横山利彦

オンライン会誌は <http://www.jssrr.jp/journal/> でご覧いただけます。

今回のユーザー ID とパスワードは

User ID : jsr193

Password : gyo61h1k

です。このユーザー ID とパスワードは、次号が発行された後に失効します。

まだ試運転段階ですので、皆様から、バグの指摘，コメントなどをいただければ幸いです。ご連絡は横山(yokoyama@ims.ac.jp)までお願いします。また、当然のことですが、会員以外の方へのパスワード漏洩は禁止いたします。また、記事の著作権は日本放射光学会にありますので、転載等のご希望に関しては、必ず事務局までご連絡下さい。良識あるご利用で、会員の皆様のお役に立てれば幸いです。